

ふもと小学校だより

こだま いさお
文責：児玉伊左夫

保護者・地域の皆さん、先生方、そして高学年のみんなには読んでもらいたいと思って作っています。

冬のこだま便

(R3 第10号)

令和4年2月9日(水)

2月。今年度あと2ヶ月。コロナ禍続く中、日々 1時間1時間を たいせつにしてすごしていきましょう。

いいお正月がきた、と思っていた矢先。感染再拡大、第6の波。厳しい状況が続きます。

今回はいつどこから広がっていくかわかりません。荒尾市教育委員会からのお願い等も数回出されているところですが、幸い、今のところは皆様方のご努力もあって、休校や学級閉鎖には至らずに済んでいます。

学校行事も縮小、中止、延期などを余儀なくされています。なかでも6年生の修学旅行については、再々延期となってしまいました。3月にはなんとか形を変えてでも実施できればと考えています。



なわとび大会も学年ごとに実施となりました。



コロナに負けず、寒さに負けず外遊び

顔認証による登下校等見守りサービス・モデル校の取り組みについて

この度荒尾市スマートシティ推進協議会（事務局・市総合政策課）から、上記事業のモデル校としての依頼がありました。

実証実験として「登校時に児童玄関で顔認証により、保護者へ登校完了と体温を通知する」「下校時には児童玄関を出たことを通知する」などがなされます。

モデル事業であり、一時的な取組となります。個人情報にかかることがあるので、同意書やスマホ設定などが必要です。事業終了と同時に、情報はすべて削除されます。

その意味でも希望参加となります。趣旨をご理解の上、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

毎年度実施の県心のアンケートについて

本校はいじめゼロ学校だと信じているのですが、人間なので、つい言葉がきつくなったりします。知らず知らずのうちに友だちを傷つけてしまうことがあるのでしょうか。

県版心のアンケートで、嫌な思いをしている事例が0ではありませんでした。今年度嫌な思いをした児童が5人に1人はいたようです。このように、嫌なことがあたら、勇気を出して相談してください。それが自分のためでもあり、相手のためでもあります。

相談する人は、先生でなくてもいいです。お家の人、友だち、電話相談もあるかもしれません。

せんげん
本校では毎朝「いじめを許さない宣言」
じょくわ
をみんなで唱和しています。

- えがおいっぱい
- 1 笑顔一杯やさしさ一杯府本小
 - 2 私たちは友だちを傷つけません。
 - 3 私たちは明るく誰とでも助け合います。

すばらしい宣言文だと思いますし、それを毎朝みんなで確かめ合っていることが、もっとすばらしいと思います。

府本小のじまんの1つです。

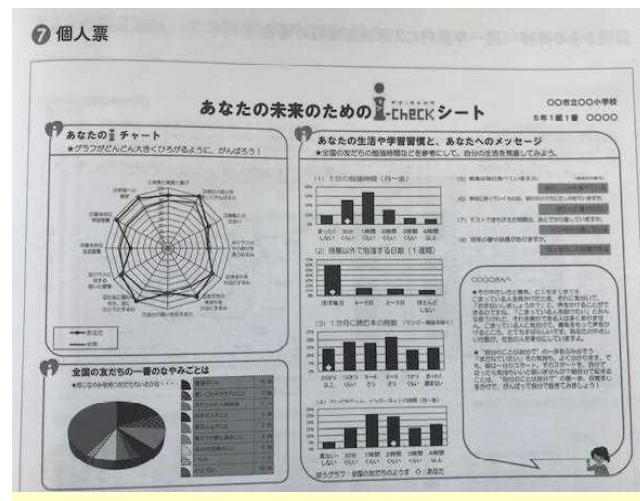
学校評価アンケート（後期）を行います。

2/14（月）からの週で行います。前期と同様です。来年度にむけ取組の参考にさせていただきます。コロナ禍、制限ある中で、新しい学校生活様式が求められています。ご回答とご意見をよろしくお願ひします。

熊本県学力調査の結果／個人票を配付します。

12月に実施の県学調の結果が届きました。個人票（昨年度から新形式）がありますので、しっかりと見つめ直して、これから学習に生かしてください。個人個人に面談をしながら説明し、個人票は最終的に2/25学級懇談会にて保護者にお渡しします。

けいこう
全体的な傾向としては、おおむね県の平均値を上回っていますが、やや算数がもう一步のようです。個人差もありますので、この学年のうちに、課題解決をしていきたいものです。



個人票のサンプル

A sample of the '保護者用' (For Parents) section of the survey form. It contains a large block of Japanese text with questions and a table for responses. The table has columns for '質問内容' (Question Content), '回答' (Response), and '意見欄' (Opinion Column). There is also a note at the top right: 'こちらには、学校をよりよくするために意見を記入。(裏面可)'.